



6次産業化・地産地消メールマガジン

令和7年3月7日発行 第300号



今、世界中が日本の食品に大注目！
この時流に適応し、輸出事業で売上30%化を目指しませんか？
輸出事業がブレイクスルーするポイントを食品輸出で
成功している実践者と支援者が直接大公開！！

株式会社船井総合研究所では、農業法人、食品企業向けに、食品輸出事業で売上30%化を目指すためのブレイクスルーポイントを学ぶセミナーを開催します。

当セミナーでは、現在輸出事業で伸び悩んでいる企業、これからチャレンジする企業向けに、商品別ターゲット国、パートナー選び、クリアすべき課題等の具体的なポイントやステージ別の取組について、実践的且つ詳細にお伝え致します。

【本セミナーで学べるポイント】

1. 食品の輸出の拡大ポイントを学ぶことができます
ターゲット国、各国の基準や取り決め、パートナー選びから商談まで、輸出事業を拡大させるポイントを学ぶことができます。
2. 輸出に向けた取り組みステップの整理ができます
課題把握やフォローアップ、テスト輸出等、何からスタートすべきか、ステップアップポイントの整理・把握ができます。
3. 自社商品でどの国を狙うのかの参考にできます
自社商品はどこでどう売ることが効果的か、ターゲットや狙うべき市場を考える際の参考になります。
4. 輸出に向けた商社・パートナーの選定ができます
数多く存在する商社・パートナー企業のどこを選べばよいのか、商材や輸出規模、ターゲット国にあわせた見極めポイントを学べます。
5. 食品輸出の先行・成功企業の事例がわかります
国内と全く勝手が異なるのが輸出事業です。そのため、成功に自社を導くためには、先行企業、成功企業の事例から学ぶのが一番の近道となります。

【講座内容】

第1講座

農産物・食品が、今、輸出参入・拡大にチャレンジすべき理由

- ・食品輸出の現状とこれから
- ・輸出事業の戦略的考え方
- ・船井総合研究所の輸出事業サポートについて

講師：株式会社船井総合研究所 地方創生支援部 食品ユニット
マネージャー 中野 一平

第2講座

創業8年で日本最大のりんごの生産法人兼輸出事業者へ！

世界標準の「高密植栽培」を導入し、日本品質×高生産性の強みで日本の農業を革新！

- ・創業から8年で日本最大のりんごの生産法人兼輸出事業者となった変遷から学ぶ「農業のあり方」
- ・成功の実例と失敗から学ぶ、生鮮品の輸出事業で必ず押さえておくべきポイント
- ・1か国だけでなく、多様な国々に輸出を成功させる秘訣と今後の展望について

講師：株式会社日本農業 農業開発事業本部 営業部 部長
永田 玲士 氏

第3講座

農産物・食品輸出の見極めポイントと取り組みステージ別の輸出強化施策成功事例

- ・ハードルが高い輸出事業“一歩目”の進め方
- ・ターゲット国および商社・海外バイヤーの選び方・見極め方
- ・2025年、最新の輸出テーマ・トレンド情報

講師：合同会社プログレス 代表CEO 小栗 史也 氏

第4講座

まとめ・輸出事業スタートに向けて

- ・輸出事業のために“まず実施すること”
- ・成功モデルステップ・スケジュール公開

講師：株式会社船井総合研究所 地方創生支援部 食品ユニット チーフ
コンサルタント 前田 輝久

【参加料金】

- ・一般価格 20,000円（税込 22,000円）/ 一名様
- ・会員価格 16,000円（税込 17,600円）/ 一名様

【日時】

2025年4月3日（木）14時30分～17時30分（リアル開催）

【会場】

船井総研グループ 東京本社 サステナグローススクエア TOKYO
〒104-0028
東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

【詳細、お申し込み先】

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/125420>

◇ メルマガの配信登録・解除はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

◇ 農林水産省では、これまでの6次産業化を発展させた
「農山漁村発イノベーション」の取組を支援しています。
詳しくはこちら（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/inobe/index.html>

*** 【発行元】*****

農林水産省 農村振興局 農村政策部
都市農村交流課
〒100-8950 東京千代田区霞が関1-2-1
代表：03-3502-8111（内線：5446）